



～ 自ら進む子 ～

副校長 相川 猛

先生「(活動をやめる)時間になったんだけど、いいですか？」

児童「だめっ。もう少し～。」

先生「分かりました。じゃあ、あと少しね。」

生活科のある研究授業でのやり取りです。

授業内の時間は教員が調整するのはもちろんなのですが、児童に「授業の流れを、一旦、預けてみる」このやり取り。児童が自ら学びを進めていく意識をもち、高めていくために大切なこの“ひと手間”。子供が何に興味をもち、本音はどうしたいのか？このことを、よく見ていくことは、とても必要なことだと思いました。

私たち大人は、日々、限られた生活時間の中で、「〇〇した？」「〇〇するよ」「なんで〇〇なの？」と思ったり言ったりしています。子供の行動や考えることより先回りして、“手をかけ・目をかけ・声をかけ”ていることもあります。そのような中ではありますが、(強制的ではなく)「どうしていく？」「どうしたい？」と子供に委ねてみることもしてみたいと思います。安全に関することは、大人の責任として、事前に子供と確認をすることはしますが、ちょっとだけ、「時間的な余裕」と「心のゆとり」を意識して、危なっかしくてムラが多くて心配だけど、「ちょっぴり勇気を出して、待つ」ことも意識できたらなあと思います。干渉過ぎず、放任過ぎずに、寄り添い、子供の背中を見守る感覚で…。

(教員も含む)大人のかかわりによって子供たちは、日々、影響を受けています。そのかかわりの中で、“人の話を聞く子供”を育てています。一方で、話を聞き、指示があって動くことができても、言われたことをする”受け身の感覚”になっていることも考えられます。そうならないためにも、子供の学びや生活において、「自ら判断して」「自分なりに進んでいく子供」を育てていきたいと思います。

可能な限り“自分で判断する場面”を保証し、“自ら学ぶすじ道”を尊重し、“自分の生活を進めていくこと”を見守っていききたいと思います。子供たちはきっと、元来、分かってほしい・やりたい・できるようになりたい…という思いをもっていると思います。その思いが行動となるよう、自然でさりげない『きっかけ作り』ができれば素敵だなと思います。

子供といえども、その子にしかない個性があり、唯一の人格があります。また、日々の生活は、その子供の人生としての毎日です。まわりの環境からの影響をたくさん受けながらも、どんな子供も“自分”があります。その根っこの部分を尊重し、日々、行動し生活している動きから、その背景(思いや願い)をよく見守って想像し、自ら進んでいける子を育てていきたいと思います。

自分の人生という舞台の主人公は自分。何歳でもそうはずです。子供にとって、豊かな人生を味わうための土台を作るために、これからも日々のかかわりを見つめていききたいと思います。

学習発表会

文化的行事委員長

11月15日(金)【児童鑑賞日】・16日(土)【保護者鑑賞日】に学習発表会を行います。

10月末から、劇や合唱などの取り組みが始まっています。

「学習発表会」は、子供たちが学習して自分はこんなことができるようになったと成長する喜びを実感し、その姿を表現する場です。また、保護者の方にとっては、わが子の学びの成果を実感できる場なのかと思います。発表会の当日には、お子さんの演技の様子をご覧になるだけでなく、子供たちが心を合わせて創り出した発表の素晴らしさをぜひ味わってください。ご家庭でも、お子さんと一緒に学習発表会の感動にたっぷり浸っていただけると幸いです。

今年の学習発表会は「全力 協力 楽力」をスローガンにお届けします。1年生から6年生、それぞれの工夫を凝らした発表をご覧ください。

観賞場所や時間など、お知らせがいくつかございます。プログラムや学校からのお便りをご確認ください。よろしく願いいたします。

九小 CS「サポーター制度」の取組について

副校長 相川 猛

本校では、コミュニティ・スクール協議会(CS)のメンバーを中心に、様々なボランティア活動を展開しています。「給食ボランティア」「学習ボランティア」「校外学習ボランティア」など、児童の活動に応じて、ボランティア活動を積極的に実施しています。

「九小サポーター制度」として、3回の講習を受けた保護者、地域の方がサポーター登録をしてくださっています。ボランティアとして子供たちの活動のために献身してくださり、全ての教員が、その取り組みに大感謝しています。

我が子を家庭で見ると、学校に来て様々な児童を見るのでは、我が子を含めた「子供へのまなざし」が変わると思いますし、視野が広がると思います。”子供に教えている中で、子供に教わること”もあるのでは・・・とも思っています。ご多用の中だとは思いますが、ぜひぜひ、子供の教育活動へのご支援を、引き続き、よろしくお願い致します。

GIGA タイムの取り組みについて

GIGA 担当

各学期に2回ほど朝の時間を使って「GIGA タイム」を設定し、全校で一人一台 PC 活用の推進に向けた取組を行っています。これまで、ビデオ会議の練習や「まなびポケット」内のeライブラリでドリル学習をすることに取り組んできました。

今年度の GIGA タイムでは昨年度に引き続き、「第九小タブレット活用ルール」を活用して、学校や家庭で使うときのルールの確認や、ネット利用による犯罪に巻き込まれないようにしたり、友達とトラブルを起こさないようにしたりするためにはどうすべきか考えるなど、情報モラル面に重点を置いた指導を行っています。

11月生活目標「思いやりをもって過ごしましょう」



生活九ちゃん(生活指導)

先月の目標は、「力をあわせて助け合いましょう」でしたが、子供たちは声をかけ合いながら過ごすことができました。3・4年生は合同で遠足に行き、4年生が3年生のことを考えて行動し、3年生が4年生の言うことを聞いて行動するという「助け合い」ができていました。素晴らしいことです。

さて、今月は特に「思いやり」をもって過ごしてほしいと思います。実は、「力を合わせる」ためには「相手」を思うことが大切になります。よく「思い」は見えないけど、「思いやり」は見えると言います。思いをもつことは「意識」であり、思いやりは「行動」というわけです。「意識」して「行動」することで、学校みんなが「安全・安心」で「楽しく」過ごすことにつながっていきます。九小の子供たちならできるはずですよ。素敵な学校にするために「思いやり」をもって過ごしていきましょう。

ふれあい(いじめ防止強化)月間

生活九ちゃん(生活指導)

東京都教育委員会では、いじめや不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進することを目的とし、6月と11月を「ふれあい月間」としています。九小では、6月、11月、2月に「学校生活についてのアンケート」を実施しています。子供たちが集団で生活する学校では、気持ちのすれ違いや感情の衝突等のトラブル、もめごとは、どの学級でも起こりえます。それらが起こった時には、児童等から話を聞き取ったり、相談をしたりしながら早期の解決に向けて取り組んでいます。ふれあい月間を通して、学校では、自分の行動や友達関係を振り返る時間をとり、いじめ等の未然防止、早期発見に努めております。この期間は、ご家庭でもお子様の友達関係を把握できるよう、いつもより学校や友達に関わる会話を増やしていただくと幸いです。そして、日々のお子様の様子などで何か気になることがありましたら、各担任までご相談ください。

11月安全指導

生活九ちゃん(生活指導)

11月の安全指導のテーマは「放課後の過ごし方」です。

暗くなる時間が日に日に早くなっています。「人通りの少ない道」「一人で」「薄暗くなってから」……。このような条件は、不審者や事故にあう確率が高くなります。

そのため、以下の点を指導していきます。

- ①暗くなる前に家に帰ること。
- ②危険を感じたら安全な場所を確認してすぐに避難すること。助けを求めること。

ご家庭でもお子さんの安全のため、日没の時間に合わせてお子さんの門限も早めていただきたいと思います。また、防犯ブザーの電池が切れていないか、ぜひ定期的にご確認ください。

上履き募集のお知らせ

生活九ちゃん(生活指導)

上履きを忘れた児童に、校内で貸し出しを行っています。履かなくなった上履きがあるご家庭は、ぜひ寄付してください。特に不足しているサイズは20cm～25cmです。名前をマジックで消してから、担任に渡してください。ご協力よろしくお願いたします。

登校時刻について

生活九ちゃん(生活指導)

九小では8時15分～25分が登校時間となっています。これから寒くなってきますし、朝早くから来て待っている児童が校庭で遊び、けがをしまう危険もあります。ご家庭の都合もあるかと思いますが、登校時間の中で学校に着くようにしてください。